

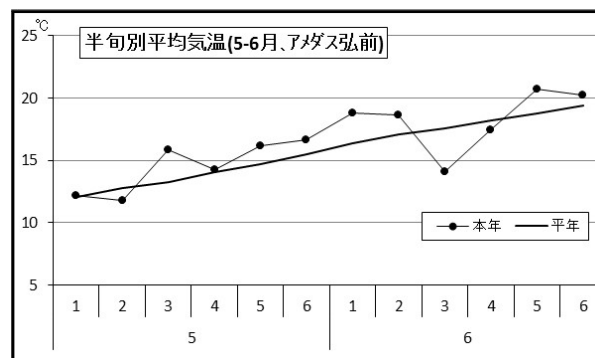
農作物の生育状況（6月29日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

1 気象

6月1～28日の平均気温は平年に比べ0.4℃高かった。降水量は平年比96%、日照時間は平年比100%となった。

6月11日に平年より3日早い梅雨入りとなった。



2 水稻

6月30日現在の生育は、草丈・茎数は平年を下回り、葉数から見た生育は平年並から3日程度遅くなっている。

今後、平年並みの気象で推移すると、「つがるロマン」の幼穂形成期は、平年より3日遅い7月18日頃となる見込みである。

3 小麦

管内の収穫始めは平年並みの7月2日頃と見込まれる。生育観測ほでは、播種の遅れや湿害等により平年に比べて収量が劣るものと見込まれる。

4 りんご

6月21日現在のふじの肥大(横径)は弘前市独狐で3.4cmで平年(3.2cm)を上回っている。

黒星病の被害葉や被害果は、昨年に比べかなり多めとなっている。

ふじ等の摘果作業や袋かけ作業、徒長枝整理が行われている。

5 ぶどう(スチューベン)

落花日は、弘前市石川で平年より3日遅い6月28日となった。

6 もも(川中島白桃)

6月21日現在、平川市新館の果実横径は4.0cmで平年(3.6cm)を上回っている。

7 にんにく

草丈は平年を上回り、生葉数及び茎径は平年並みである。また、球径、球重は平年を上回っている。収穫は6月24日から始まった。

8 トマト・ミニトマト

トマトは例年並みの6月20日から、ミニトマトは例年並みの6月4日から出荷が始まっている。

日照不足と着果負担の影響により草勢の低下が見られるが、病害虫の発生は少なく生育は概ね順調である。

9 トルコギキョウ

生育は概ね順調で、病害虫の発生は見られない。